

# 平成26年度 環境政策局運営方針



ごごみちゃん

エコちゃん

めぐるくん

京都市の環境保全活動を応援するキャラクターたち

平成26年4月  
環境政策局

## 目 次

I	環境政策局運営の総括表	1
II	重点取組の概要	3
	基本方針1 自然環境とくらしを気遣う環境の保全	3
	基本方針2 低炭素型のくらしや持続可能なエネルギー社会の実現	3
	基本方針3 ごみを出さない循環型社会の構築	6
III	予算の概要	10

### 「DO YOU KYOTO?」とは

「DO YOU KYOTO?」という言葉をご存知ですか？

京都議定書にちなんで、京都から世界に向けて発信する「環境にいいことしていますか？」という意味の合言葉。

京都市では、京都議定書を発効した2005年2月16日にちなみ、毎月16日を「DO YOU KYOTO?デー」（環境に良いことをする日）としています。

### 環境政策局職員が持つべき基本的な目標

私たち、環境政策局職員は、真に市民から期待され、信頼されるものとなるため、「市民や地域が何を求めているか」、「我々は、どのように市民や地域に貢献していくのか」という視点を業務遂行上の原点として改めて認識し、行動する必要があると考えています。

そのため、公務員としての高い倫理観と規範意識を保持することはもとより、環境政策局職員が持つべき基本的な目標について、次の4つを「あるべき姿」として掲げ、コンプライアンスや服務規律の徹底、モチベーションの向上、ひいては市民ニーズに合致した業務の遂行に努めます。

#### - 環境政策局職員の「あるべき姿」 -

- ・ 市民に信頼される職員
- ・ 地域に貢献する職員
- ・ 仲間の絆を大切にす職員
- ・ プロの誇りを持つ職員

# I 平成26年度 環境政策局運営の総括表

基本方針	平成26年度 重点取組			
	取組名	目標	計画等	所属等
自然環境とくらしを気遣う環境の保全	生物多様性保全	<ul style="list-style-type: none"> <li>「まちかどいきものマップ」の更なる応募勧奨</li> <li>生きものの生息環境の保全</li> <li>理解し行動する市民の支援</li> <li>活動を促す仕組みとネットワークの構築</li> </ul>	京都市生物多様性プラン - 生きもの・文化豊かな京都を未来へ -	環境管理課
低炭素型のくらしや 持続可能なエネルギー社会の実現	省エネルギー，創エネルギーの普及拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光発電システム，蓄電システム，太陽熱利用システムの設置助成</li> <li>燃料電池システム，HEMSの設置助成制度の創設</li> <li>自立分散型エネルギー等の導入相談のためのワンストップ窓口の設置</li> <li>地域住民やコミュニティ組織が主体となった，発電事業に対する支援制度の創設</li> <li>「都市熱活用プロジェクト」の実用化に向けた取組の推進</li> <li>バイオディーゼル燃料の利用と「バイオ軽油」の実用化に向けた取組の推進</li> <li>「都市油田発掘プロジェクト」の実用化に向けた取組の推進</li> <li>クリーンセンターでのごみ発電によるエネルギー回収の最大化</li> </ul>	京都市地球温暖化対策計画 - 地球にやさしいまち・経済・ライフスタイルを目指して - <2011-2020>  京都市エネルギー政策推進のための戦略	地球温暖化対策室 環境管理課 施設管理課 施設整備課
	家庭部門における地球温暖化対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度からの3箇年で市内全学区がエコ学区となるよう支援</li> <li>こどもエコライフチャレンジ推進事業の全市立小学校（166校）での実施</li> <li>DO YOU KYOTO?クレジット制度を活用した温室効果ガス排出量削減及び創出されたクレジットの活用促進</li> <li>大学生を対象にした環境にやさしいライフスタイルへの転換を図るプロジェクトの実施</li> </ul>	京都市バイオマスGO!GO!プラン - 京都市バイオマス活用推進計画 - <2011-2020>	
	運輸部門における地球温暖化対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>京エコドライバーズ宣言登録者数の拡大</li> <li>エコカーへの転換の促進</li> </ul>	- クルマのかしこい利用を進める - 京都市自動車環境対策計画 <2011-2020>	
	産業・業務部門における地球温暖化対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>「BEMS普及コンソーシアム京都」の創設</li> <li>KES認証取得の促進</li> </ul>		
	国際的な地球温暖化対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>イクレイ東アジア地域理事会及びその関連事業（国際シンポジウム等）の開催</li> </ul>		

備考：3ページ以降に示す重点取組のうち，主な事業を掲載しています。

基本方針	平成 26 年度 重点取組			
	取組名	目標	計画等	所属等
ごみを出さない循環型社会の構築	ごみの発生抑制・再使用の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>「みんなで目指そう！ごみ半減！循環のまち・京都プラン」の取組の見直しや新たな方策の条例化</li> <li>「生ごみ3キリ運動」の推進</li> <li>マイボトル持参と衣料品回収行動を促進するKYOTO エコマネーの活用</li> <li>イベント等でのリユース食器の普及促進</li> <li>環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」の実施</li> </ul>	<p>みんなで目指そう！ごみ半減！ 循環のまち・京都プラン - 京都市循環型社会推進基本計画 - 〈2009-2020〉</p>	<p>ごみ減量推進課 まち美化推進課 まち美化事務所</p>
	資源物の分別・リサイクルの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源物の地域巡回回収の実施</li> <li>有害・危険ごみ等の移動式拠点回収事業の実施</li> <li>雑がみ等の紙ごみ分別・リサイクル事業の本格実施・全市展開</li> <li>地域や学校単位での生ごみ、落ち葉等の堆肥化の取組の推進</li> <li>地域単位で古紙類、古着類、缶・びん類等の資源物を回収するコミュニティ回収の拡大</li> <li>バイオディーゼル燃料として活用する使用済てんぷら油の回収量拡大</li> </ul>		<p>ごみ減量推進課 環境共生センター</p>
	事業ごみ減量、分別・リサイクル対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業ごみ減量に関するニュースレター「ごみゆにけーしょん」の発行</li> <li>事業所における紙ごみ等のごみ減量モデルの構築</li> <li>大規模事業所、特定食品関連事業者に対するごみ減量指導</li> <li>業者収集マンションの管理者や住民に対するごみの分別啓発</li> </ul>		<p>環境指導課 廃棄物指導課</p>
	大岩街道周辺地域の良好な環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>大岩街道周辺地域の継続的な監視活動の実施</li> <li>民間事業者による岡田山撤去作業の指導等を通じた安全・適正かつ計画的な事業実施</li> <li>岡田山周辺の土壌、地下水等の環境調査、廃棄物検査及び交通量調査の実施</li> </ul>		<p>まち美化推進課 まち美化事務所 生活環境美化センター 施設管理課 施設整備課 クリーンセンター 埋立事業管理事務所 魚アラルサイクルセンター</p>
	ごみの適正処理や施設整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリーンセンター等における廃棄物の適正処理及び効率的な運営</li> <li>南部クリーンセンター第二工場建替え整備に向けた設計、解体工事</li> <li>東部山間埋立処分地の延命策の検討</li> <li>水垂排水機場のディーゼルエンジン及びポンプの整備</li> </ul>		<p>ごみ減量推進課 まち美化推進課 まち美化事務所 (エコまちステーション)</p>
	地域との連携に基づく総合的な環境行政の取組推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域における自主的なごみ減量、リサイクル活動の拡大</li> <li>国際観光都市・京都にふさわしいトイレ環境の整備の検討、推進</li> </ul>		

備考：3ページ以降に示す重点取組のうち、主な事業を掲載しています。

## Ⅱ 重点取組の概要

### 基本方針1 自然環境とくらしを気遣う環境の保全

#### 1 生物多様性保全（環境管理課）

京都の豊かな自然環境と生物多様性に支えられてきた暮らしや文化を守り、継承、発展をさせていくため、「京都市生物多様性プラン」に基づき、生物多様性に対する市民・事業者の理解を深めるための普及・啓発活動を進めるとともに、プランに掲げるリーディング事業など、市民・事業者・大学・市民団体といった多様な主体の参加・連携を促すための取組を推進します。

##### 取組目標

- ・ 「まちかどいきものマップ」の更なる応募勧奨
- ・ 生きものの生息環境の保全（京の生きもの・文化協働再生プロジェクト）
- ・ 理解し行動する市民の支援（京都生きもの100選の検討、京の生きものホットスポット調査、自然観察会）
- ・ 活動を促す仕組みとネットワークの構築（京・生きものミュージアムポータルサイトの開設、生物多様性保全活動登録制度の創設・運用）



自然観察会の開催

##### 平成25年度の実績

- ・ 京都市生物多様性プランの策定
- ・ 「まちかどいきものマップ」の募集と優秀作品の表彰
- ・ 自然観察会の開催

#### 2 生活環境の保全（環境指導課、環境共生センター）

市民のくらしと健康を守るため、大気・水質・騒音・振動・悪臭・土壌汚染などの公害発生防止対策等に着実に取り組みます。

また、微小粒子状物質（PM2.5）等の大気の測定や主要河川の水質調査等の常時監視に努めます。

##### 一般環境大気測定



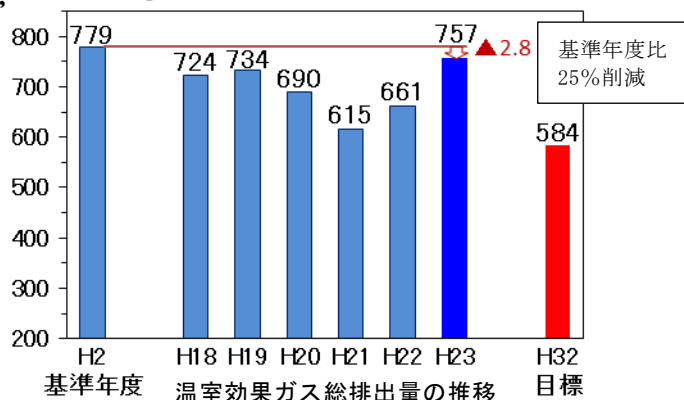
二酸化硫黄、微小粒子状物質（PM2.5）等について、市内14局で年間を通じて自動測定

### 基本方針2 低炭素型のくらしや持続可能なエネルギー社会の実現

「京都市地球温暖化対策条例」に基づき、地球温暖化対策を総合的かつ計画的に推進するため、昨年度改定した「京都市地球温暖化対策計画」を市民・事業者との連携により一層推進します。条例及び計画に掲げる施策の進行管理に当たっては、電気の排出係数を固定した温室効果ガス排出量の表示など、多面的な指標を設定し、（万トン-CO<sub>2</sub>）

温室効果ガス排出状況等について分かりやすく発信するとともに、社会経済情勢の変化等を踏まえ、条例の記載内容の点検を進めます。

また、「京都市エネルギー政策推進のための戦略」に基づき、市民の生活の質の維持・向上につながる「原子力発電に依存しない持続可能なエネルギー社会」を目指して、徹底的な省エネルギーの推進や、再生可能エネルギーの飛躍的な普及拡大を図ります。



### 3 省エネルギー，創エネルギーの普及拡大

(地球温暖化対策室，施設管理課，施設整備課)

従来の太陽エネルギー利用システム（太陽光発電，蓄電，太陽熱利用）に加え，家庭用燃料電池システム（エネファーム），HEMS（家庭用エネルギーマネジメントシステム）を助成対象とするとともに，自立分散型エネルギー利用設備等の導入相談のためのワンストップ窓口を設置するなど，一層の普及拡大を図ります。さらに，地域住民やコミュニティ組織が主体となって，太陽光や小水力等を活用した発電事業に対する取組を支援する制度を創設します。

また，バイオディーゼル燃料の利用に加え，「バイオ軽油」の実用化に向けた研究開発，「都市油田発掘プロジェクト」や「都市熱活用プロジェクト」の実証試験など，最新のバイオマスエネルギー技術及び排熱利用技術の活用に向けた取組を進めます。

このほか，クリーンセンターでは，焼却熱を利用した高効率の発電を行い，エネルギー回収の最大化を図ります。

#### 取組目標

##### <太陽光発電等>

- ①太陽光発電システム，②蓄電システム，③太陽熱利用システムの設置助成  
※①,③は，省エネリフォーム，耐震改修等を併せて実施した場合，助成額を増額
- 燃料電池システム，HEMSの設置助成制度の創設
- 自立分散型エネルギー等の導入相談のためのワンストップ窓口の設置
- 地域住民やコミュニティ組織が主体となった，発電事業に対する支援制度の創設
- 「都市熱活用プロジェクト」の実用化に向けた取組の推進

##### <バイオマス>

- バイオディーゼル燃料の利用と「バイオ軽油」の実用化に向けた取組の推進
- 「都市油田発掘プロジェクト」の実用化に向けた取組の推進
- クリーンセンターでのごみ発電によるエネルギー回収の最大化

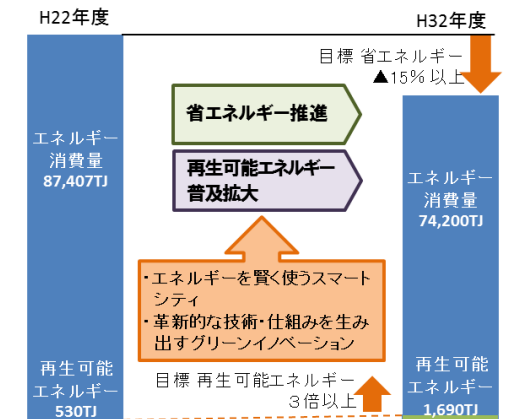
#### 平成 25 年度の取組実績

- 太陽光発電システム 1,580 件，蓄電システム 81 件，太陽熱利用システム 15 件の設置助成
- 市民協働発電制度 6 施設，太陽光発電屋根貸し制度 22 施設の選定（想定出力合計:1,013kW）
- ごみ収集車及び市バスでのバイオディーゼル燃料の利用（約 127 万リットル）
- クリーンセンターでのごみ発電によるエネルギー回収の最大化

### 4 家庭部門における地球温暖化対策の推進 (地球温暖化対策室)

増加傾向にある家庭からの温室効果ガス排出量を効果的に削減するため，地域コミュニティにおける環境に関する学習会，節電や省エネルギーの取組などのエコ活動を支援することにより，ライフスタイルの転換を図ります。

また，子供や大学生など次代を担う世代に対して，地球温暖化について自ら考え体験する機会を提供す



「エネルギー政策推進のための戦略」の目標



エコ学区の活動

ることにより、環境意識の向上や家族と共にエコライフを実践することにつながるよう取り組みます。

京エコロジーセンターを環境学習と環境保全活動の拠点として、「DO YOU KYOTO? (環境にいいことしていますか?)」の行動の輪を広めます。

また、市民団体や商店街等のコミュニティの省エネ活動等により実現した温室効果ガスの削減量を取引可能なクレジットとして京都市が認証し、これをイベント実施者や大規模事業者がカーボン・オフセットに活用する、CO<sub>2</sub>クレジットの京都発「地産地消」モデルを推進します。



カーボン・オフセットの活動

### 取組目標

- 平成 25 年度からの 3 箇年で市内全 222 学区がエコ学区となるよう支援
- こどもエコライフチャレンジ推進事業の全市立小学校（166 校）での実施、親子学習会などプログラムの充実
- DO YOU KYOTO? クレジット制度を活用した温室効果ガス排出量削減及び創出されたクレジットの活用促進
- 大学生を対象にした環境にやさしいライフスタイルへの転換を図るプロジェクトの実施

### 平成 25 年度の実績

- 「エコ学区」事業の実施 163 学区
- こどもエコライフチャレンジ推進事業を全市立小学校（168 校）で実施
- 地域コミュニティが取り組む省エネにより 93.4 トンのクレジットを創出
- イベントのカーボン・オフセット等により 110 トンのクレジットを活用
- 大学生の環境意識に関するアンケート調査を実施（回答数約 1,500）

## 5 運輸部門における地球温暖化対策の推進（地球温暖化対策室、環境管理課）

自動車等から排出される温室効果ガスを削減するため、「京都市自動車環境対策計画」に基づき、引き続き、エコドライブの普及を図るとともに、中小貨物運送事業者への天然ガス・ハイブリッド自動車購入補助、タクシー、レンタカー、貨物運送事業者への電気自動車等購入補助、電気自動車等用の充電設備設置補助を行うことにより、環境性能の高いエコカーへの転換を図ります。

### 取組目標

- 京エコドライバーズ宣言登録者数の拡大
- エコカーへの転換の促進

### 平成 25 年度の実績

- 京エコドライバーズ宣言登録者 119,009 名
- エコドライブ支援装置の貸出 8 台
- 自動車教習所と連携したエコドライブ講習の実施 研修 1,305 回、参加者数 8,942 名
- 中小貨物運送事業者への天然ガス自動車等購入補助 3 台
- タクシー事業者等への電気自動車等購入補助 2 台
- 電気自動車等用充電設備設置補助 5 基



エコドライブ講習の開催

## 6 産業・業務部門における地球温暖化対策の推進 (地球温暖化対策室, 環境管理課)

温室効果ガス排出量が基準年度(1990年度)と比べ増加している民生・業務部門の省エネ・節電の実現に向けて、電力やガス等のエネルギー使用状況の「見える化」が可能となるBEMS(ビルエネルギーマネジメントシステム)の普及を図るため、「BEMS普及コンソーシアム京都」を創設し、中小事業者とBEMS専門事業者とのマッチングや省エネに関する専門家の派遣などBEMS導入を促進させる環境を構築します。

### 取組目標

- ・「BEMS普及コンソーシアム京都」の創設
- ・KES認証取得の促進

### 平成25年度の実績

- ・特定事業者の平成24年度の温室効果ガス排出実績を示す事業者排出量削減報告書の受理及び実績かい離事業者への指導・助言
- ・医療・福祉施設を対象としたBEMS導入実証事業の実施
- ・市内事業者におけるKES認証取得累計件数 1,255件
- ・中小事業者における省エネにより494.1トンのクレジットを創出

## 7 国際的な地球温暖化対策の推進 (地球温暖化対策室)

京都議定書誕生の地から、「環境先進都市・京都」を広く国内外へ積極的に発信するとともに、中国をはじめとした東アジアの自治体に「イクレイ-持続可能性を目指す自治体協議会」への加盟を促し、東アジア地域の自治体が直面している環境問題を共有し、その解決策を共に検討するため、平成26年秋にイクレイ東アジア地域理事会及びその関連事業(国際シンポジウム等)を本市で開催します。

### 取組目標

- ・イクレイ東アジア地域理事会及びその関連事業(国際シンポジウム等)の開催

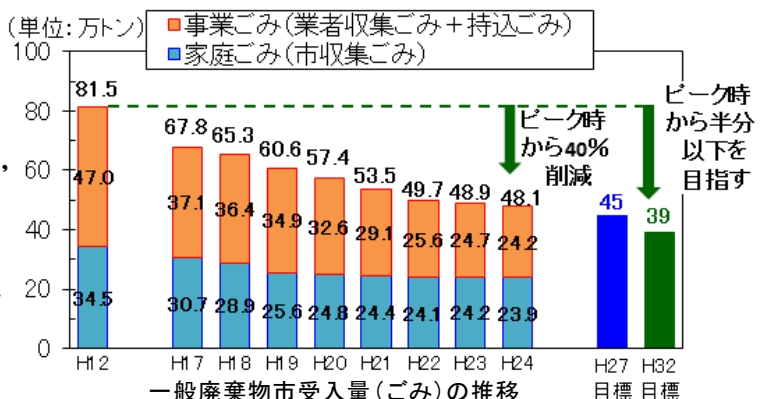
## 8 地球温暖化対策のための市役所の率先実行 (地球温暖化対策室)

「京都市役所CO<sub>2</sub>削減率先実行計画」に基づき、市内最大の排出事業者である京都市役所からの温室効果ガス排出量の削減を推進します。

## 基本方針3 ごみを出さない循環型社会の構築

## 9 ごみの発生抑制・再使用の推進 (ごみ減量推進課)

平成24年度のごみ量は、発生抑制や有料指定袋制などの取組を推進してきたことにより、ピーク時(平成12年度)の82万トンから4割減の48.1万トンまで削減することができましたが、ここ数年、ごみ量はわずかな減少にとどまっています。今後、平成32年度までに「ピーク時から半分以下の39万トンまで減らす」という目標の達成に向け、「みんなで目指そう!ごみ半減!循環のまち・京都プラン」について、中間目標年度(平成27年度)を待たずして、前倒しで取組の見直しを行います。





また、発生抑制から分別・リサイクルに至るごみ減量全般に関する新たな方策の条例化にも取り組めます。

### 取組目標

- ・ 「みんなで目指そう！ごみ半減！循環のまち・京都プラン」の取組の見直しや新たな方策の条例化
- ・ 「生ごみ3キリ運動」の推進
- ・ マイボトル持参と衣料品回収行動を促進するKYOTO エコマネーの活用
- ・ イベント等でのリユース食器の普及促進
- ・ 環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」の実施

### 平成 25 年度の取組実績

- ・ 容器包装の削減に関する新たな枠組みの構築に向けた中間とりまとめの策定
- ・ KYOTO エコマネーの活用 延べ約 24,000 人参加（商品交換件数 6,391 件）
- ・ イベント等のエコ化の推進  
京都市認定エコイベント 108 件，リユース食器利用促進助成 24 件
- ・ 環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」91 回実施，2,167 人参加

## 10 資源物の分別・リサイクルの推進

（ごみ減量推進課，まち美化推進課，まち美化事務所）

可能な限り資源物を回収し、徹底してごみを資源に変えることを目指して、家庭ごみの減量化と資源ごみの回収・リサイクル機会の拡大及び地域コミュニティの活性化を推進します。

また、缶・びん・ペットボトル等の分別収集や使用済小型家電等の資源物回収に加え、家庭ごみの約3割を占める「紙ごみ」の分別・リサイクルの拡大を図るため、「雑がみ」（包装紙、ビラ、紙箱などのリサイクル可能な汚れていない紙）の分別・リサイクルを全市展開させ、市民による「徹底した分別」と古紙業者による「確実な回収」を図る仕組みを確立します。

雑がみ（リサイクルできる紙）



### 取組目標

- ・ 資源物の地域巡回回収の実施
- ・ 有害・危険ごみ等の移動式拠点回収事業の実施
- ・ 雑がみ等の紙ごみ分別・リサイクル事業の本格実施・全市展開
- ・ 地域や学校単位での生ごみ，落ち葉等の堆肥化の取組の推進
- ・ 地域単位で古紙類，古着類，缶・びん類等の資源物を回収するコミュニティ回収の拡大
- ・ バイオディーゼル燃料として活用する使用済てんぷら油の回収量拡大

### 平成 25 年度の取組実績

- ・ 塗料・溶剤，薬品類等を，日ごとに場所を変えて回収する「有害・危険ごみ等の移動式拠点回収事業」の実施 96 回
- ・ スーパーの駐車場等のスペースを活用した，古紙・古着等の回収（マーケット回収）登録 8 団体
- ・ 生ごみ・落ち葉の堆肥化の活動団体に対する助成 53 件
- ・ 生ごみコミュニティ堆肥化事業 6 地域
- ・ 小学校給食堆肥化モデル 5 校
- ・ コミュニティ回収登録団体数 2,142 団体
- ・ 使用済てんぷら油回収 1,759 拠点にて 192,842 リットル回収



有害・危険ごみ等の移動式拠点回収

## 1 1 事業ごみ減量，分別・リサイクル対策（ごみ減量推進課，環境共生センター）

オフィス，飲食店等の事業者や業者収集マンションの管理者，住民に対し，発生抑制や分別排出等についてきめ細かな啓発を実施するとともに，多量にごみを排出する大規模事業所や食品関連事業者への減量指導を行うなど，事業ごみの減量を推進します。

### 取組目標

- ・ 事業ごみ減量に関するニュースレター「ごみゆにけーしょん」の発行
- ・ 事業所における紙ごみ等のごみ減量モデルの構築
- ・ 大規模事業所，特定食品関連事業者に対するごみ減量指導
- ・ 業者収集マンションの管理者や住民に対するごみの分別啓発



「ごみゆにけーしょん」の発行

### 平成 25 年度の取組実績

- ・ 「剪定枝・刈草のリサイクル BOOK」の発行
- ・ 「雑がみ」の分別・リサイクルに関するリーフレットの発行
- ・ 「生ごみ」の発生抑制・リサイクルに関するリーフレットの発行
- ・ 事業ごみ減量に関するニュースレター「ごみゆにけーしょん」の発行
- ・ 大規模事業所に対するごみ減量指導  
減量計画書提出件数 2,176 件（提出率 97.9%），講習会の開催 8 件，  
立入指導件数 1,258 件，ごみ減量・3R 活動優良事業場認定件数 54 件
- ・ 特定食品関連事業者に対するごみ減量指導  
減量計画書提出件数 43 件（提出率 100%），指導件数 21 件
- ・ 業者収集マンションの管理者や住民に対するごみの分別啓発  
管理者講習会の開催，届出書の提出件数 4,375 件（提出率 100%）

## 1 2 第 3 次京都市産業廃棄物処理指導計画の推進（廃棄物指導課）

京都市の産業廃棄物行政の基本的な方向性を示す「第 3 次京都市産業廃棄物処理指導計画」（平成 23 年 3 月策定）に基づき，排出事業者への指導の充実，優良な処理業者の育成に向けた情報公開の推進，啓発や環境教育の効果的な実施等に取り組みます。

また，計画の進捗確認等を目的として，産業廃棄物処理状況等の調査を行います。

## 1 3 大岩街道周辺地域の良好な環境づくり（環境指導課，廃棄物指導課）

かつて大規模な野外焼却や違法開発が行われてきた大岩街道周辺地域において，違法行為の再発防止と根絶に向け，継続的な監視活動を行います。また，民間事業者による岡田山撤去事業については，周辺環境に悪影響が生じないように監視し，安全かつ適正な実施を確保するため，事業者による環境調査結果の検証や市独自の環境調査等を定期的に行い，その結果を公表します。

### 取組目標

- ・ 大岩街道周辺地域の継続的な監視活動の実施
- ・ 民間事業者による岡田山撤去作業の指導等を通じた安全・適正かつ計画的な事業実施
- ・ 岡田山周辺の土壌，地下水等の環境調査，廃棄物検査及び交通量調査の実施

### 平成 25 年度の取組実績

- ・ 大岩街道周辺地域の継続的な監視活動の実施
- ・ 岡田山撤去量 22,400 m<sup>3</sup>（平成 25 年 6 月に事業者による撤去開始）
- ・ 岡田山周辺の土壌，地下水等の環境調査，廃棄物検査及び交通量調査の実施

## 14 ごみの適正処理や施設整備

(まち美化推進課, まち美化事務所, 生活環境美化センター, 施設管理課, 施設整備課, クリーンセンター, 埋立事業管理事務所, 魚アラリサイクルセンター)

### <適正処理>

発生抑制・リサイクルなどの取組を推進してもなお排出されるごみ及びし尿については, 引き続き適正に処理することで, 市民生活の安心・安全を守ります。

### <施設整備等>

南部クリーンセンター第二工場建替えに当たっては, 高効率なごみ発電やバイオガス発電に加え, これまでのクリーンセンターのイメージを一新し, 先進的なモデルとなる世界最先端の環境学習の拠点として整備することとしており(平成31年度稼働予定), 今年度は引き続き設計を行うとともに, 解体工事に着手します。

また, 本市唯一の埋立処分地である東部山間埋立処分地の延命策について, 市民・学識経験者等からなる廃棄物減量等推進審議会で検討していきます。

### 取組目標

- ・クリーンセンター等における廃棄物の適正処理及び効率的な運営
- ・南部クリーンセンター第二工場建替え整備に向けた設計, 解体工事
- ・東部山間埋立処分地の延命策の検討
- ・水垂排水機場のディーゼルエンジン及びポンプの整備

### 平成25年度の取組実績

- ・クリーンセンター等における廃棄物の適正処理及び効率的な運営
- ・生活環境美化センターの移転・再整備の実施
- ・魚アラリサイクルセンターの運営維持管理業務の民間委託化

## 15 地域との連携に基づく総合的な環境行政の取組推進

(ごみ減量推進課, まち美化推進課, まち美化事務所(エコまちステーション))

市民との協働による環境施策をさらに推進するため, 多様な方法を用い, 分かりやすい広報に努めるとともに, まち美化事務所や各区・支所のエコまちステーションを中心とした地域との細やかな連携を広げることにより, 地域密着型の総合的な環境行政を推進します。

また, 市民, 事業者, 行政のパートナーシップによりごみ減量・リサイクルに関する取組を展開する「京都市ごみ減量推進会議」の活動を, 引き続き支援します。

「世界一美しいまち・京都」の実現を目指し, 市民, 事業者, ボランティア団体等との協働により取組を推進するほか, ごみの散乱を防止するための防鳥用ネットの貸出や, 自主的な清掃活動を行う市民団体等へのボランティア袋などの給付支援を行い, まちの美化の推進を図ります。さらに, 国内外からの観光客や市民が気軽に利用できる快適なトイレを提供するため, 公衆トイレの改修, 民間トイレの活用, 清掃面での品質の向上を図ります。

### 取組目標

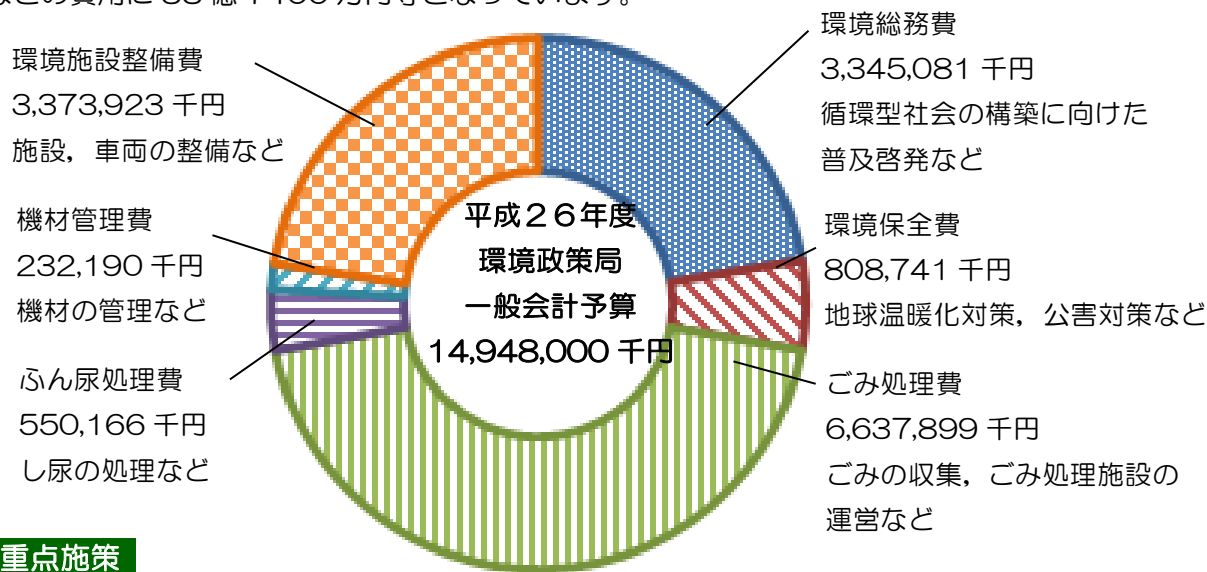
- ・地域における自主的なごみ減量, リサイクル活動の拡大
- ・国際観光都市・京都にふさわしいトイレ環境の整備の検討, 推進

### 平成25年度の取組実績

- ・地域における自主的なごみ減量, リサイクル活動の拡大
- ・ごみ収集業務の市民満足度(市民アンケート)に基づく, ごみ収集業務評価推進会議による評価及び改善

### Ⅲ 予算の概要

平成26年度の環境政策局の予算は、149億4800万円(一般会計総額に占める割合約2.0%)であり、その主な内訳として、地球温暖化対策や公害対策などの費用に8億900万円、ごみの収集やごみ処理施設の運営などごみ処理費に66億3800万円、ごみ処理施設や車両の整備などの費用に33億7400万円等となっています。



#### 重点施策

＜基本方針1＞	
生物多様性保全推進事業	1030 万円
＜基本方針2＞	
自立分散型エネルギー利用促進事業	2 億 7860 万円
「BEMS 普及コンソーシアム京都」推進事業	650 万円
イクレイ東アジア地域理事会京都開催	4000 万円
＜基本方針3＞	
「みんなで目指そう！ごみ半減！循環のまち・京都プラン - 京都市循環型社会推進基本計画 -」の推進	1500 万円
雑がみ等の紙ごみ分別・リサイクル徹底推進事業	1500 万円

家庭ごみ有料指定袋の収入は、次の3つの分野に関する事業に活用しています。

#### ごみ減量・リサイクルの推進

- ◆ 地域単位で資源物を回収するコミュニティ回収事業
- ◆ 常設の資源物回収拠点の設置
- ◆ 環境施設見学会「ごみ減量エコバスツアー」
- ◆ 有害・危険ごみ等の移動式拠点回収事業
- ◆ 雑がみ等の紙ごみ分別・リサイクル徹底推進事業 など



#### まちの美化の推進

- ◆ 家庭ごみの防鳥用ネット貸出事業
- ◆ 地域団体への不法投棄監視カメラ等の貸出事業 など

#### 地球温暖化対策

- ◆ 自立分散型エネルギー利用促進事業
- ◆ 使用済てんぷら油の市民回収奨励事業
- ◆ 全市立小学校におけるこどもエコライフチャレンジ推進事業
- ◆ 商店街街路灯LED化推進事業
- ◆ 街路樹整備事業
- ◆ 既存住宅の省エネルギーフォーム等支援事業 など

## お問い合わせ先

家庭ごみに関するお問い合わせ・ご相談	
北部まち美化事務所	724-8881
東部まち美化事務所	722-4345
山科まち美化事務所	573-2457
南部まち美化事務所	681-0456
西部まち美化事務所	882-5787
西京まち美化事務所	391-5983
伏見まち美化事務所	601-7161
北エコまちステーション	366-0155
上京エコまちステーション	366-0776
左京エコまちステーション	366-0821
中京エコまちステーション	366-0180
東山エコまちステーション	366-0182
山科エコまちステーション	366-0184
下京エコまちステーション	366-0186
南エコまちステーション	366-0188
右京エコまちステーション	366-0190
西京エコまちステーション	366-0192
洛西エコまちステーション	366-0194
伏見エコまちステーション	366-0196
深草エコまちステーション	366-0198
醍醐エコまちステーション	366-0311
持込ごみに関するお問い合わせ	
南部クリーンセンター	611-5362
東北部クリーンセンター	741-1003
公害及び浄化槽に関するご相談	
北部環境共生センター	451-0211
南部環境共生センター	671-0511

各課	
地球温暖化対策室	222-4555
環境総務課	222-3450
環境管理課	222-3951
環境指導課	222-3955
ごみ減量推進課	213-4930
まち美化推進課	213-4960
廃棄物指導課	366-1394
施設管理課	212-9820
施設整備課	212-8500
環境学習と環境保全活動の拠点施設	
京エコロジーセンター	641-0911
住宅の太陽光発電設備設置助成等に関するお問い合わせ	
京安心すまいセンター	744-1631
大型ごみ、ペットの死体に関するお問い合わせ	
大型ごみ（通話料無料）	0120-100-530
携帯から（通話料有料）	0570-000-247
ペットの死体（通話料無料）	0120-100-921
携帯から（通話料有料）	0570-000-614
し尿のくみ取り(収集作業)に関するお問い合わせ	
生活環境美化センター	681-5361
その他の施設	
北部クリーンセンター	873-3020
埋立事業管理事務所	572-8465
魚アラルサイクルセンター	622-3207

詳しい情報はホームページでもご覧いただけます。

京都市 環境

検索

平成26年度 環境政策局運営方針 平成26年4月発行  
京都市環境政策局 環境企画部 環境総務課

〒604-8571

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町 488 番地

E-mail kankyosomu@city.kyoto.jp